

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 10 日

評価対象事業		評価者	環境センター担当課長 月花 信介	
環境-22	今泉クリーンセンター収集事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境センター
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	ごみ減量対策課
総合計画上の位置付け	分野	3-(3) 生活環境	施策の方針	3-(3)-①3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため。
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・大船、玉縄及び深沢（一部を除く）地域のごみの収集・運搬作業を行った。 ・ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。 ・清掃車両の整備及び管理を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	ごみ収集運搬事業(大船、玉縄、深沢(一部を除く))	粗大ごみ等の収集及び運搬事業	収集申込に対し2週間以内に収集をする(%)	100 / 100	100	100	100%
				12,554 / 13,017	10,037		
02	ごみ収集・分別・資源化指導啓発事務	市民及び事業者への適正分別の指導等	各地域週1回以上のクリーンステーション巡回を実施する(%)	100 / 100	100	100	100%
				0 / 0	0		
03	清掃車両整備・管理事務	収集車両修繕料など	車両整備により、計画通り稼働した車両の割合(%)	100 / 100	100	100	100%
				3,835 / 3,869	5,329		
04				/			
				/			
05				/			
				/			
06				/			
				/			
07				/			
				/			
08				/			
				/			
09				/			
				/			
10				/			
				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/		1,485	
			一般財源	16,389 / 16,886	13,881		
			事業費の合計(千円)	16,389 / 16,886	15,366		
		人件費(千円)		132,594	234,702		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	22.7	18.4	16.6	29.7		
会計年度任用職員	2.0	4.0	5.0	2.5		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	ごみ収集運搬事業(大船、玉縄、深沢(一部を除く))	粗大ごみの収集等を予定通り行うことにより、適正なごみの収集に繋げ、目標を達成した。	ごみの適正な処理体制の構築に資している。	本事業を担う技能労務職について、退職者不補充に応じた収集体制の維持構築が課題である。
02	ごみ収集・分別・資源化指導啓発事務	クリーンステーションへの定期的な巡回を行い、クリーンステーションへの不適正排出の抑止し、目標を達成した。	ごみの適正な処理体制の構築に資している。	クリーンステーションは、利用する住民によって維持管理されており、職員の定期巡回を通じて環境衛生の保全を図る。
03	清掃車両整備・管理事務	ごみの収集を行うために、適切な車両整備を行い、計画通り車両を稼働させ目標を達成した。	ごみの適切な処理体制の構築に資している。	予防保全型の修繕等を実施していくことで、車両故障の未然防止に努める。
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか		2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
			協働実施済の場合のパートナー 自治・町内会長及び廃棄物減量化等推進員

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
令和6年度(2024年度)末の名越クリーンセンター焼却停止を踏まえ、クリーンセンターの業務等を集約し、さらなる効率的な収集体制を検討し構築していく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--